

中央本線「路線名称」の変遷
(JTB「停車場変遷大事典 I・II(国鉄・JR 編)」(1998 年)より)

(資料部会 加藤 育男 作成)

「1909(M42)年 10 月 12 日」 「国有鉄道線路名称」制定

中央東線 昌平橋・塩尻・篠ノ井間、中央西線 名古屋・野尻間

(官報 明治 42 年 10 月 12 日 鉄道院告示第 54 号)

「1911(M44)年 05 月 01 日」 中央線全通

中央本線 昌平橋・岡谷・辰野・塩尻・名古屋間

塩尻・篠ノ井間は篠ノ井線として分離。中央東線・西線の部を廃止して中央本線の部を新設。

以後、東線・西線は欲称となる。正式には現在(分割民営後)でも中央本線。

(官報 明治 44 年 04 月 05 日 鉄道院告示第 17 号)

(官報 明治 44 年 04 月 27 日 鉄道院告示第 27 号)

「1919(T08)年 03 月 01 日」 東京駅乗入。

中央本線 東京・岡谷・辰野・塩尻・名古屋間

(官報 大正 08 年 02 月 22 日 鉄道院告示第 04 号)

「1982(S57)年 05 月 17 日」 塩尻駅が篠ノ井線・本線上松本方 0.5km 先に移転開業。

名古屋から松本・長野方面へのスルー運転が可能となる。

これまでの東京・名古屋間のスルー運転線は存置。以降旧駅は「塩尻大門」と称する。

小野・塩尻間 9.4km→ 9.9km、塩尻・洗馬間 4.3km→ 4.2km

小野・塩尻・洗馬間 13.7km→14.1km

(官報 昭和 57 年 05 月 16 日 日本国有鉄道公示第 08 号)

「1983(S58)年 07 月 05 日」 塩嶺隧道開通(明治当初からの計画ルート)。

中央本線 東京・岡谷・みどり湖・塩尻・名古屋間及び岡谷・辰野・塩尻間

(明治開業ルート支線となる)

(官報 昭和 58 年 05 月 06 日 日本国有鉄道公示第 28 号)

「1987(S62)年 04 月 01 日」 継承。

中央本線(東日本) 東京・みどり湖・塩尻間 及び 岡谷・辰野・塩尻間

(昭和 62 年 04 月 01 日 東日本旅客鉄道 社告第 01 号)

「1987(S62)年 04 月 01 日」 継承。

中央本線(東海) 塩尻・名古屋間 (昭和 62 年 04 月 01 日 東海旅客鉄道 社告第 21 号)

「1998(H10)年 07 月 02 日」 政令に従い他線区との重複区間削除(名目上)。

中央本線(東日本) 神田・代々木間、新宿・みどり湖・塩尻間及び岡谷・辰野・塩尻間

(東京・神田間は(東北本線)、代々木・新宿間は(山手線)の所属とされた為)

(平成 10 年 07 月 02 日 東日本旅客鉄道 社告第 11 号)

中央本線(東海) これまで通り塩尻・名古屋間。現在に至る。

(文中の区間・注釈等は理解促進の為、加筆してあるので原文とは一致しない。)